



龍西だより



令和6年度 学校だより
第12号
令和6年10月22日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

「わくわく油田プロジェクト」廃食油回収について

今年度6月から取り組み始めた廃食油の回収については、保護者の皆様のご協力で毎回10リットルを超える油が回収されています。これまでの回収結果は下のとおりです。

6月：11リットル 7月：10リットル 9月：25リットル

9月は夏休み明けということもあり回収量が多かったです。今月10月10日の回収結果は届いていませんが、やや少なかったようです。

これまでは各ご家庭のペットボトルで回収させていただいていましたが、先日、業者さんから回収用のリターナルボトルが全児童数分届きました。ボトルいっぱいに入れて約800ml入ります。



来月11月の回収から、このリターナルボトルをお使いください。ペットボトルと違い口が広いので、入れやすいです。注意点が1つだけあります。ボトルは繰り返し使います。油の入ったボトルを持ってきた子には、交換で新しいボトルを渡されます。同じボトルをずっと使うわけではありません。それで、渡されたボトルには記名しないでください。

次回の回収日は、11月14日（木）です。よろしくお願いします。

「いのちの大切さを考える講演会」

先週18日（金）に、5・6年生を対象にした講演会を実施しました。講師は、慈恵病院で助産師をされている大山由香さん。講話の中で、私が印象に残った言葉をいくつか紹介します。

○今、生きていることが当たり前ではない。お母さんが命がけて産んでくれ、多くの人たちに大切にされ、支えられてきたから今がある。周りの人たちに感謝しよう。

○傷つけるために生まれたのではない。傷つけられるために生まれたのでもない。大切にしよう、自分の命。

○あなたたちの命は、先祖の方々から受け継いだ命。二次性徴を迎えるということは、命のバトンの準備ができるようになったということ、自分やまわりの人の体を大切にすることを考える時期になったということ。

○性被害にあわないために、SNSの使い方については気をつけ、嫌なことは「NO」と言えるようになるろう。

11月18日（月）には、全校児童を対象にした「人権講演会」も計画しています。“すぐー”で配信したように、保護者の方の参加もOKです。

専門的な知識や経験のある外部講師の先生方のお話は、子どもたちの心に響きます。様々な取り組みを通して、子どもたちの心の成長につなげたいと思います。



「身近な森の音楽会」

先週19日（土）には、龍田中学校グラウンド横の「龍田プレイパーク」で音楽会が開催されました。この音楽会は今年21回目で、地元龍田中校区の方々が多く関わっておられる歴史ある大きなイベントです。

プログラムの一つ「身近な森のボイトレチーム」には、龍田西小から2名参加しました。この2名は、歌手の“歌屋山本けい”さんから、学校で5回にわたる歌のレッスンを受け出演しました。龍田小学校の子どもたちと一緒にステージで歌ったことは、良い経験になったことでしょう。

スマイルバンドの皆さんも、大変立派な演奏でした。

会場の準備や片付けにご協力いただいた、PTAの方々にも感謝申し上げます。



